

## 「環境・ごみ」について

P1

受付月	題名	内容	回答要約	担当部
5月	有料ごみ袋について	京都市のように有料ゴミ袋制度にしてたくさんのゴミを出す方には応分の負担を求めべきだと思う。	<p>本市では、平成13年10月よりごみ袋の透明化を実施し、管内の城南衛生管理組合の構成市町(3市3町)では初めての試みで、ごみの量が如実に減り、管内の模範となっております。また、透明化のもう一つの狙いは、収集作業員の安全性を配慮するために設けております。</p> <p>ご提案いただきましたごみ袋の有料化ですが、本市では既に実施しており、一度に2袋を越えるごみを出す場合は、有料袋150円(袋代50円、処理手数料100円)で販売しております。ごみ及び資源物の分け方・出し方カレンダー(全戸配布)にも掲載させていただき啓発の推進を行っております。</p> <p>なお、アルミ缶やペットボトルの混載資源物ですが、お近くの常設・設置場において分別収集を行っておりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと考えております。</p>	環境経済部